

ともに歩み、未来に続く川俣町を。

皆

様、あけましておめでとうございませう。平成30年の新春にあたり、新年のお祝いとともに、川俣町のこれからの発展を願い、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年2月末に町長の任に就き、10か月という月日があっという間に過ぎ、初めての正月を迎えることとなりました。この間、町民の皆様には温かい励まし、そして力強いご指導を賜わり、皆様が町政に寄せている大きな期待と重責を実感しますとともに、皆様のお力添えのもと、少しずつではありますが確実に町政を前に進めることができましたことに改めて感謝申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は3月31日に山木屋地区に出されていた避難指示が解除され、住民の皆様の帰還が始まり、7月1日には復興拠点商業施設「とんやの郷」が、安倍総理大臣や吉野復興大臣、内堀県知事はじめ、多くの関係する皆様の出席のもとオープンいたしました。また、町の無形文化財の山木屋八坂神社三匹獅子舞が7年ぶりに復活されるなど、復興からの発展を目指す川俣町にとって、未来へ向けた第一歩が踏み出せた年でありました。

町としても、山木屋地区の除染後の農地活用と保全管理を目的にした

粗飼料生産流通拠点施設整備事業や、近畿大学と連携して栽培を進めているアンズリウムのブランド化に向けた支援などに加え、皆様の生活に密接に関係する国道114号の大規模な改良工事が着工されるなど、未来を見据えた川俣町の新しい形の実現に尽力しております。また、新たに子育てほっとステーションの開設や出産祝金の増額など、川俣町の未来を担う子どもたちの健やかな育成につながる取り組みにも力を入れてまいりました。

そのような中、川俣町を取り巻く環境は、少子化や高齢化の急激な進行や若者の流出に伴う働き手不足の深刻化など、年々厳しさを増しております。しかし、このような状況だからこそ、私たちは心を燃やし、知恵を絞り、未来に続くふるさとを築いていかなければなりません。

そのためには、行政、議会、町民の皆様が知恵を出し合い、共に考え、共に進んでいくことが重要であります。力強く前進する新年のスタートにしたいと考えています。今後ともあたたかいご指導をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとってよい年となるよう祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

川俣町長

佐藤 金正



ごあいさつ

Photo: 朝日に包まれる川俣（役場庁舎屋上から）

豊かで住みよい町づくりを目指して。

町

民の皆様、明けましておめで
とうございます。

皆様には、日頃から町政に対
する温かいご理解と絶大なるご協力を
賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、古川道郎町長の
辞任に伴う町長選挙が2月に行われ、
新たに佐藤金正町長が誕生いたしまし
た。議会は、3月定例議会において平
成29年度当初予算が骨格予算になった
ことに伴い、5月に臨時議会を開催し、
政策的な事業の予算について、予算常
任委員会審議を経て、可決したところ
であります。

東日本大震災及び原発事故から6年
9か月が経過いたしました。山木屋地
区の避難指示は昨年3月末日に解除さ
れ、「とんやの郷」がオープンし、本
年4月の再開に向けた山木屋小中学校、
幼稚園の整備など復興に向けた多くの
事業が進められております。しかし、
帰還された方々は278人余となつて
おり、多くの方々は未だ避難生活を続
けられております。

議会といたしましても、震災からの
復興と豊かな町づくりのため、議員一
丸となって取り組んでまいります。

一方、国政に目を向けますと、衆議
院選挙が行われ、自民党が過半数を確
保し、安倍政権の継続が決まりました。
復興政策、北朝鮮への対応、少子高齢
化対策は最重要課題であり、最善の努
力を期待いたします。

また、復興を進めるためには国の支
援が欠かせません。町民、県民、国民
のために、より一層謙虚で堅実な政権
運営を望みます。

このように、世界情勢、国内情勢の
めまぐるしい変化を素早く読み取り、
皆様の声を的確に町政に反映させるこ
とが、私ども議会の責務であると考え
ております。

より豊かで住みよい町づくりを目指
し、町民皆様の期待に応えられるよう
決意を新たにしておりますので、本年
も変わらぬご支援、ご協力を賜ります
よう心からお願い申し上げます、新
年のごあいさつといたします。

川俣町議会議員

高橋 道也

New Year's greetings 2018



新年の

